



ZERO CARBON CITY TOKOROZAWA



まちごとゼロカーボン市民会議（第4回）
2022年11月27日

市民会議（第3回）の振り返り

【市民会議の運営等】

- もっと対話がしたい（時間が足りない）。異なる世代の意見を聞きたい。
- グループ構成の変更は・・・。
- 対話したことをどうやって活用する？



環境審議会？

施策？

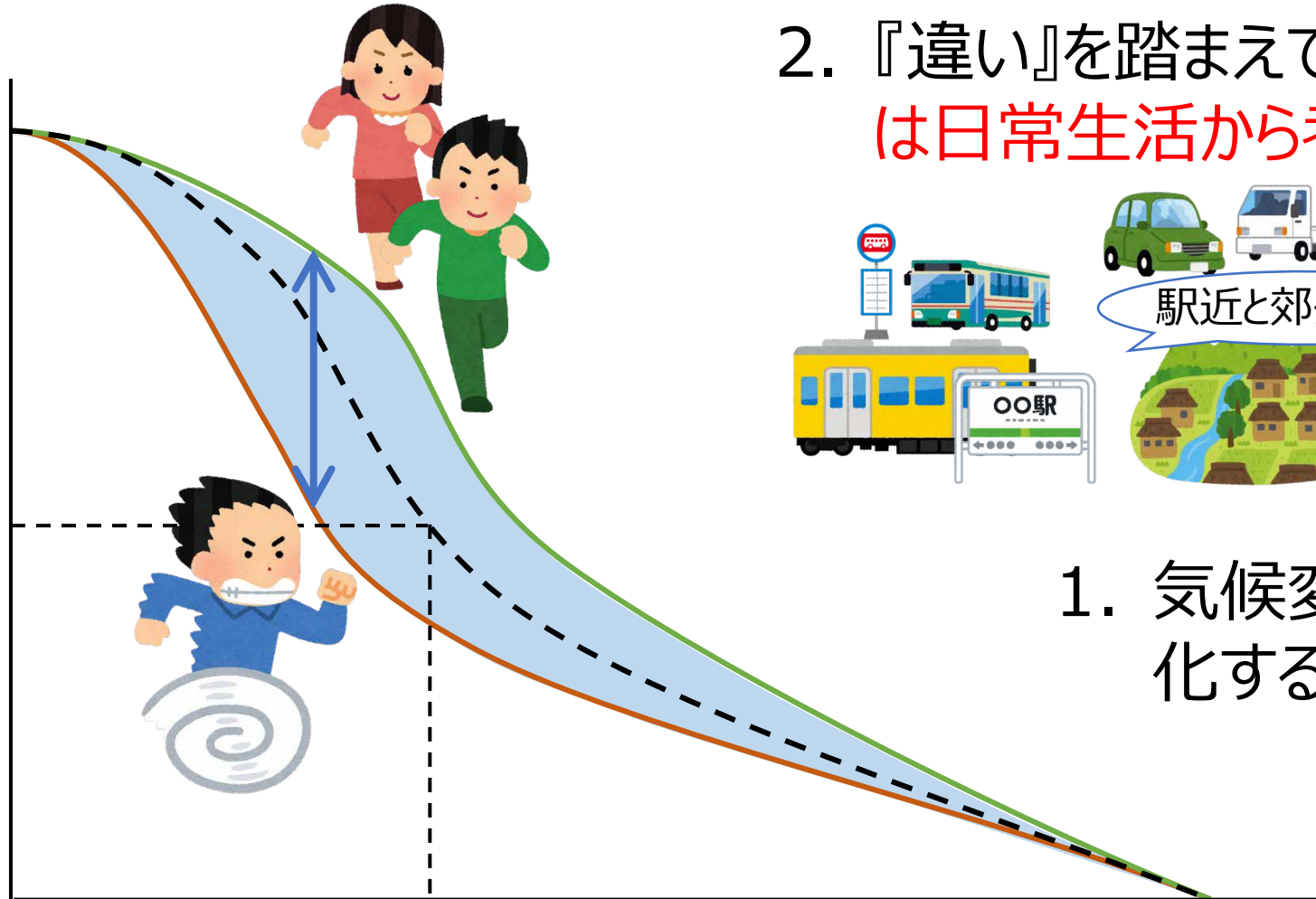
提言？



市民会議（第1回）の振り返り

1人あたり
年間7,880kg

1人あたり
年間3,900kg
(50%排出削減)



2. 『違い』を踏まえて**対策**
は**日常生活から考える**。



1. 気候変動の影響が顕在
化する**将来世代を考える**。



ゼロカーボン

2020年

2022年
(現在)

2030年
(8年後)

2040年
(18年後)

2050年
(28年後)

既に猛暑日では運動場で
体育の授業が実施できない

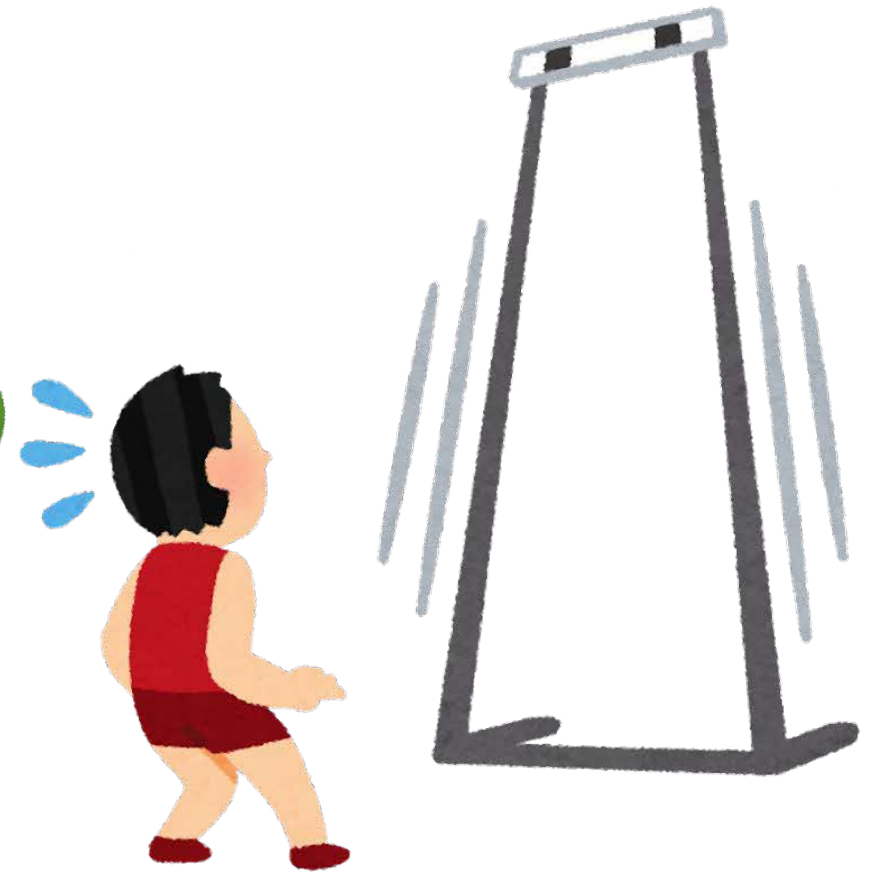


知ること

大きな違い



実践すること



太陽光パネルの設置も省エネ家電の導入も「メニューはそろっている」。でも選択して実践するまでには高いハードルがある。

今後の進め方

開催日時	テーマ	話題提供者（敬称略）
第1回目 (8月21日)	気候変動の現状と脱炭素の必要性	江守正多（東京大学/国立環境研究所）
	所沢市の脱炭素型ライフスタイル	小出瑠（国立環境研究所）
第2回目 (9月25日)	商品選択からゼロカーボンを考える	渡部厚志（地球環境戦略研究機関）、中ノ理子（イオン）、日橋忠洋（所沢市環境推進員）
	農・食からゼロカーボンを考える	横沢正幸（早稲田大学） 澁谷正則（OECマルシェ）
第3回目 (10月23日)	エネルギーからゼロカーボンを考える	松原弘直（環境エネルギー政策研究所） 神藤年三（自治会役員、環境推進員）
	住まいからゼロカーボンを考える	外岡豊（埼玉大学） 上田マリノ（所沢市マチエコアンバサダー）
第4回目 (11月27日)	移動からゼロカーボンを考える	松橋啓介（国立環境研究所） 井原雄人（早稲田大学）
	地域での連携からゼロカーボンを考える	島田幸子（環境パートナーシップ会議） 神谷一彦（県立所沢高校教諭）
第5回目 (12月18日)	里山の利用等/会議全体の振り返り/ゼロカーボンを実現する将来像	進め方は後半でご説明します

- ゼロカーボン市民会議の目的・趣旨を共有
- 気候変動の現状と脱炭素化の重要性について理解を共有

- 個別・具体的テーマでゼロカーボンを考える（⇒近未来の**自分の**日常生活の変化を見据えて）

- ゼロカーボンを実現する**将来像**を考える（⇒近未来の日常生活の変化を見据えて）

※普及啓発については、各テーマの中で議論

本日のスケジュール

13:00	約10分	開会/これまでの振り返り
13:10	約10分	チェックイン (近況のシェア)
13:20	約30分	グループワーク1『移動からゼロカーボンを考える』 話題提供
13:50	約10分	休憩
14:00	約65分	グループワーク1『移動からゼロカーボンを考える』 ワーク
15:05	約20分	グループワーク2『地域での連携からゼロカーボンを考える』 話題提供
15:25	約10分	休憩
15:35	約40分	グループワーク2『地域での連携からゼロカーボンを考える』 ワーク
16:15	約35分	【今後の進め方】投票の進め方&全5回の市民会議のとりまとめの説明・協議
16:50	約10分	チェックアウト ~閉会

前半

後半

説明/協議



参加者一人ひとりが地球温暖化問題を自分事として捉え、議論することで、問題意識を共有すると共に、会議結果をマチごとエコタウン推進計画の改定及びゼロカーボンシティ実現に向けた施策に繋げること。

会議結果とは

- ・ 各回で出た意見
- ・ アンケート形式の投票結果



後ほど、どのように取りまとめるかについて対話させてください。

自己紹介 & 近況共有

(約 8 分間)



ニックネーム

所沢市内のおす
すめの場所、お
店、その他

1. 用紙を2つ折り

2. 用紙に2つのことを書き込む

3. 用紙を使ってグループ内に共有

ニックネーム

所沢市内のおす
すめの場所、お
店、その他



グループワーク 1のテーマは

移動から

ゼロカーボンを考える



話題提供1～3

1. 移動のゼロカーボン
2. モビリティによる脱炭素化への選択肢
3. 行政の取組



グループワーク

- ゼロカーボンへの**アイデア**は？
- アイデアを実施する際の**課題**は？
- 課題への**対策**は？

国立環境研究所

松橋 啓介 氏

移動のゼロカーボン



早稲田大学

井原 雄人 氏

モビリティによる脱炭素化への
選択肢



都市計画課

板垣 昭彦 氏

楽しく、そしてエコに暮らそう！

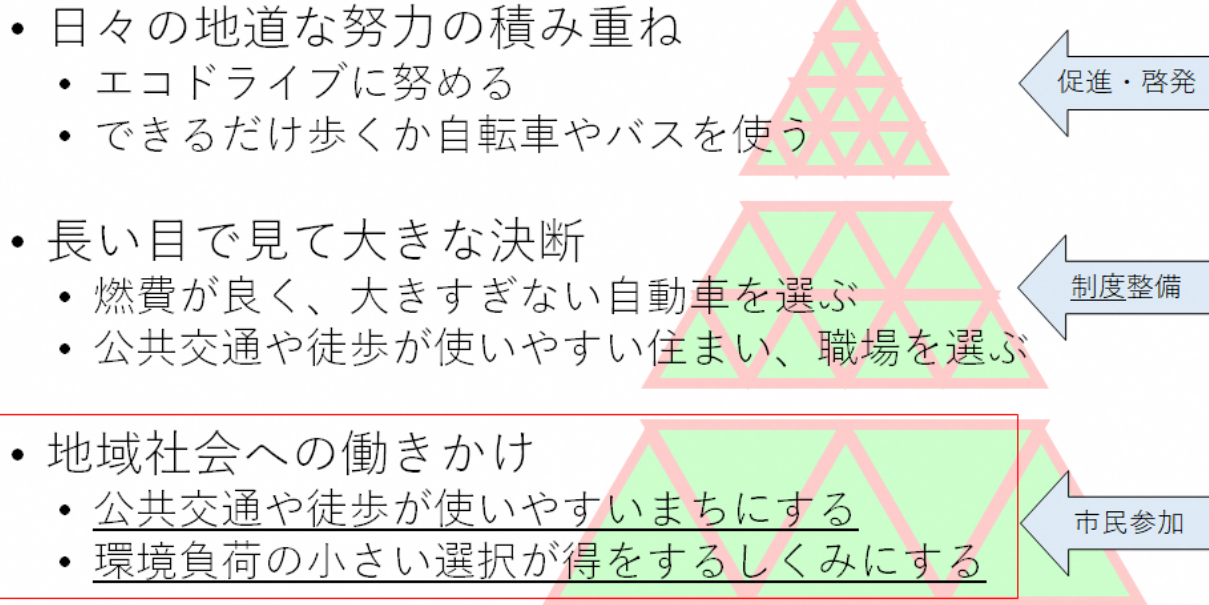




休憩

(リフレッシュしてアイデアの整理)

話題提供の整理



井原先生： 移動の対策メニューを見ながら、日常生活で変化できることを見つける。

松橋先生： 市民、事業者、行政という異なる立場で（&連携で）、そして対策による時間軸を踏まえて。

<p>そもそも移動を減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 買い物をまとめてする ● テレワーク <p>生活習慣の転換</p>	<p>走り方を変える</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エコドライブ＝運転の仕方を変える ● 渋滞を減らす＝車速をあげる（効率の良い車速で走る） 	<p>使い方を変える(乗り合う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通を使う ● マイカーでも知り合いと一緒に乗る <p>公共交通の利用促進</p>
<p>クルマを変える</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ガソリンや軽油の内燃機関からハイブリッドや電気自動車に変える ● 用途に合わせて、小さくて軽い、燃費の良い車に変える <p>車両の電動化</p>	<p>車両性能をあげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バッテリー・モータなどの効率を上げる ● 車両を軽量化する ● 充電効率をあげる 	<p>充電方法を変える</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギーによる発電の多い時間に充電する（夜より昼間） ● 使い切れない太陽光発電を優先的に使う <p>再生エネの導入促進</p>

グループワークのテーマは

『移動から

ゼロカーボンを考える』

自分ごと
として考える



1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



グループワークで大切にしたいこと

- ▶ 発言を遮らない、否定しない
- ▶ 発言は短く、簡潔に
- ▶ 話を聞くときは頷こう
- ▶ 発表したら拍手しよう
- ▶ 議論の場ではなく “対話の場” を意識しよう

議論で勝ち負けを決めるとか、意図のある結論に誘導するとか、異議を許さないということではなく、対等な人間関係の中で、お互いに尊重し合い、かつ何度も論点を往復しているうちに新しい視野が開け、何かが生まれること



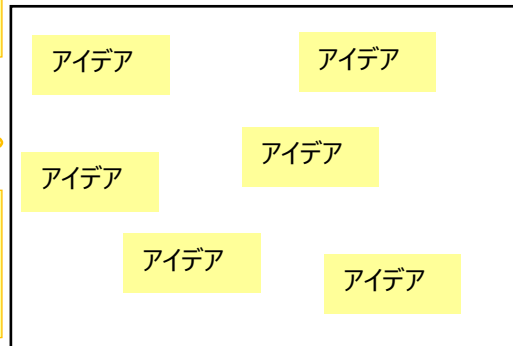
グループワークの作業手順

1. ゼロカーボンへのアイデアを考え・共有

個人ワーク
(アイデアを書く)

席の移動・模造紙を囲んで座る

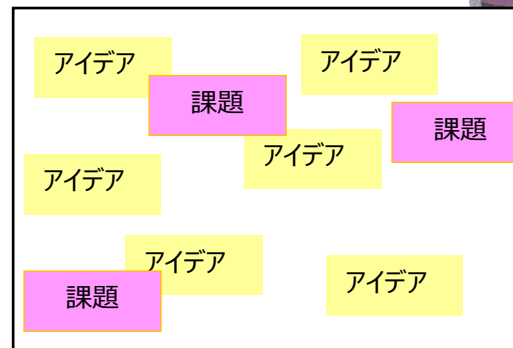
グループワーク
(アイデアを共有)



2. 取り組むにあたっての課題を考え・共有

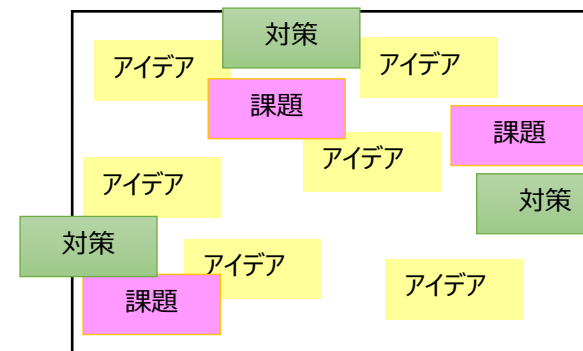
個人ワーク
(課題を書く)

グループワーク
(課題を共有)



3. 課題への対策を考え・共有

グループワーク
(対策共有・協議)



4. 全体共有

アイデア・課題・対策をセットにして発表

1-1. 個人ワーク（約5分間）

- 黄色のポストイットに「**取り組んだ方が良いでしょう**」を短文で書いてください。
- ポストイットには1つの取組を書いてください。

1. 取り組んだ方が良いでしょうとは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



自分が△△△△
に取り組んだ方がよい

他の誰かが/組織が/その他

〇〇が△△△△
に取り組んだ方がよい



自分ごと
として考える

(約3分間)

(約2分間)

1-2. グループワーク（約15分）

＜ここでイスを移動＞

- 「**取り組んだ方がよいこと**」のポストイットを**ファシリ**に手渡してください。ポストイットの内容をシェアし、グループにまとめてください。

1. 取り組んだ方がよいことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有





自分ごと
として考える

2-1. 個人ワーク（約5分間）

- 「取り組んだ方が良いこと」を実施する場合の「**課題**」を考え、**ピンクのポストイット**に書き込んでください。

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



自分の場合、

□□が難しい

他の誰か/組織/その他

○○には

□□の課題がある



自分ごと
として考える

(約3分間)

(約2分間)

2-2. グループワーク（約10分間）

- 「課題」を書き込んだピンクのポストイットをシェアしてください。

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



3-1 & 3-2. 個人・グループワーク (約15分)



- 「課題」を克服するための方法（対策）を緑のポストイットに書いてください。意見交換を進めてください

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



自分の場合、

□□と対策する

他の誰か/組織/その他

〇〇が

□□と対策する



自分ごと
として考える

グループ対話の残り時間

25:00

4. 全体共有（約10分）

- 模造紙のうち、「最も対話が深まったこと」を共有ください。

1. 取り組んだ方が良いことは？

2. 取り組むにあたっての課題は？

3. 課題への対策について意見交換

4. イチオシの対策を共有



国立環境研究所

松橋 啓介 氏



早稲田大学

井原 雄人 氏



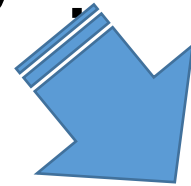
グループワーク 2のテーマは

地域での連携から ゼロカーボンを考える



話題提供1～3

1. パートナシップで取り組む所沢市マチごとゼロカーボン
2. 高校生を地域で活かす！



グループワーク

- 地域で連携する組み合わせは？
- その連携で実施できるアイデアは？

環境パートナーシップ会議

島田 幸子 氏

パートナーシップで取り組む
所沢市マチごとゼロカーボン



県立所沢高校

神谷 一彦 氏

高校生を地域で活かす！

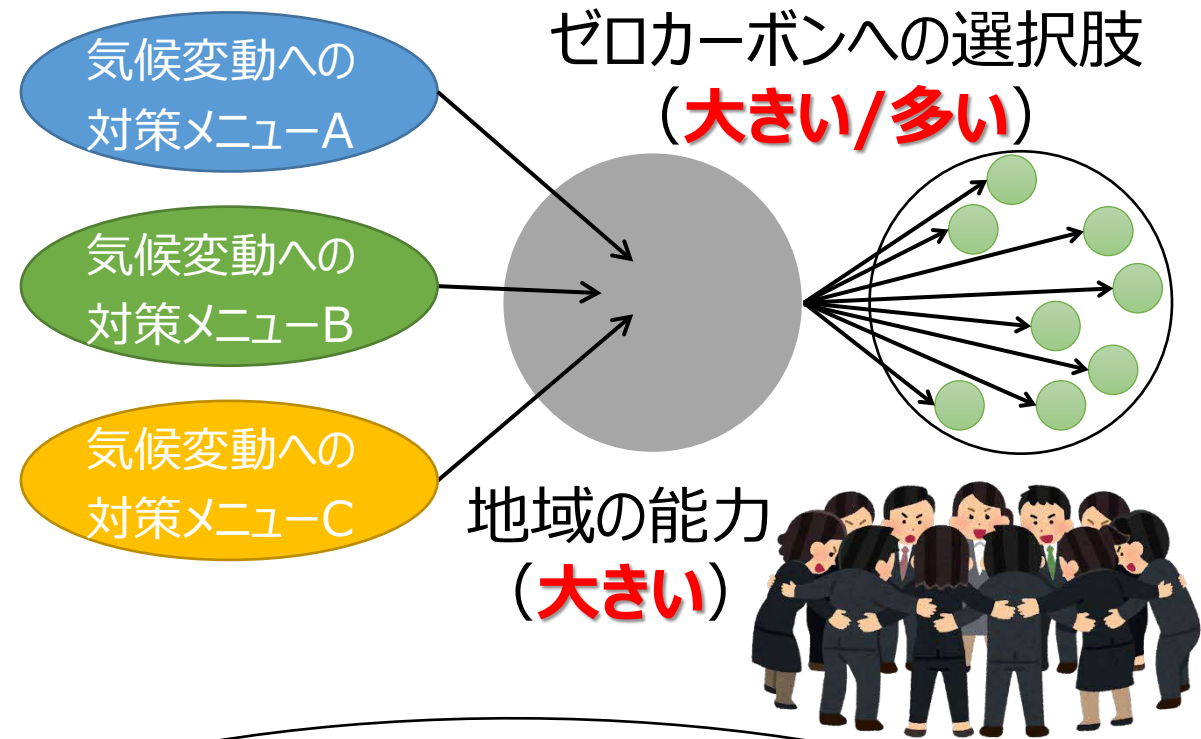
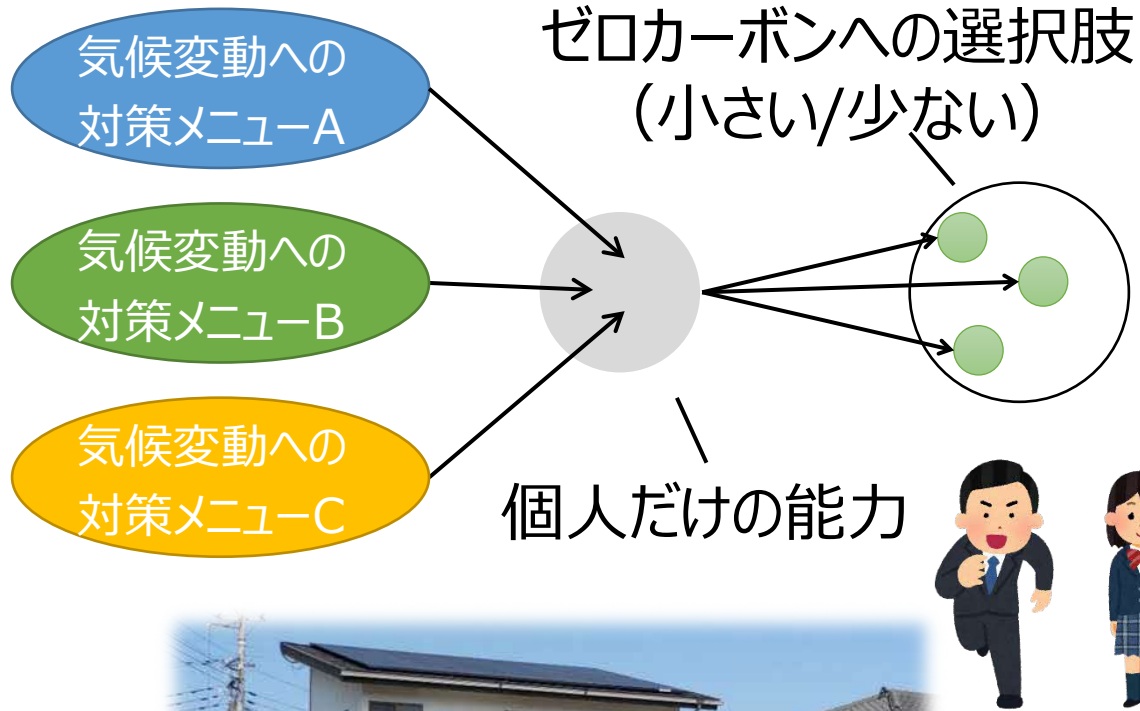




休憩

(リフレッシュしてアイデアの整理)

話題提供の整理



町谷自治会での太陽光パネル設置
(第3回で神藤さんから話題提供)

- 自治会メンバーから太陽光パネルによる「良いところ」の情報をシェア、地区内の事業者から情報提供 (地区内で連携)。
- 停電時にスマホ充電用・電気自動車の充電用としても活用可能 (副次的効果)

グループワークのテーマは

『地域での連携から ゼロカーボンを考える』

1. 地域のステークホルダー（関係者）を挙げる

2. ステークホルダーの連携で実施できるアイデアは？

3. アイデアの共有



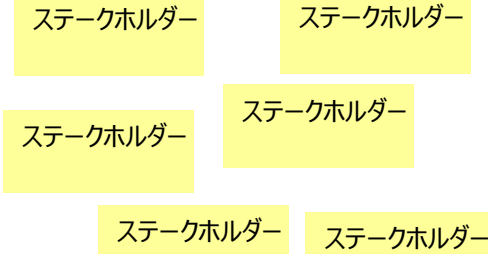
グループワークの作業手順

1. 地域のステークホルダー（関係者）を挙げる

個人ワーク
（ステークホルダーを挙げる）

席の移動・模造紙を囲んで座る

グループワーク
（共有）



2. ステークホルダーの連携で実施できるアイデアは？

個人ワーク
（組み合わせとアイデアを）

グループワーク
（共有）



3. 全体共有

地域での連携アイデアの発表

1-1. 個人ワーク（約5分間）

- 黄色のポストイットに「ステークホルダー（関係者）」を書いてください。

1. 連携の組み合わせは？

2. 連携で実施できるアイデアは？

3. 地域での連携アイデアの共有



1-2. グループワーク（約7分）

＜ここでイスを移動＞

- 「**ステークホルダー（関係者）**」を説明しながら、ポストイットを模造紙に貼ってください。

1. 連携の組み合わせは？

2. 連携で実施できるアイデアは？

3. 地域での連携アイデアの共有





自分ごと
として考える

2-1. 個人ワーク（約5分間）

- 「ステークホルダーの連携で実施できるアイデア」考え、**ピンクのポストイット**に書き込んでください。

1. 連携の組み合わせは？

2. 連携で実施できるアイデアは？

3. 地域での連携アイデアの共有



2-2. グループワーク（約12分間）

- 「ステークホルダーの連携で実施できるアイデア」を書き込んだピンクのポストイットをシェアし、グループで対話してください。

1. 連携の組み合わせは？

2. 連携で実施できるアイデアは？

3. 地域での連携アイデアの共有



ポストイットの貼り方イメージ

高校生

○△株式会社

PTA

自治会

.....

高校生

○△株式会社

PTA

自治会

ゼロカーボンデ
ザートの販売

通勤時の
ライドシェア

老人会

16時10分まで

4. 全体共有（約10分）

- 模造紙のうち、「最も対話が深まったこと」を共有ください。

1. 連携の組み合わせは？

2. 連携で実施できるアイデアは？

3. 地域での連携アイデアの共有



関東地方環境パートナーシップオフィス

島田 幸子 氏



県立所沢高校

神谷 一彦 氏



- ① 今日の会議後の『投票』の説明
- ② 第5回目での「対話」の進め方、およびマチごとゼロカーボン市民会議（全5回）のとりまとめ方針についての「対話」



今後のとりまとめ方針（案）

とりまとめ①



投票（12月5日頃から）

+



投票結果の共有
（第5回）

所沢市の施策
につなげる

とりまとめ②



市民会議でのアイデアを反
映した将来像（第5回）

+



地区別・アイデア
の特徴に基づき

地区が違えば
対策アイデアも
異なる…。



対策アイデアの整理
（第5回）

2023年度に実証事
業（仮・検討中）

①投票の実施方法（案）

マチごとエコタウン推進課長

吉田 美由紀 氏



第5回目での「対話」の進め方（案）

西：小手指・三ヶ島・山口

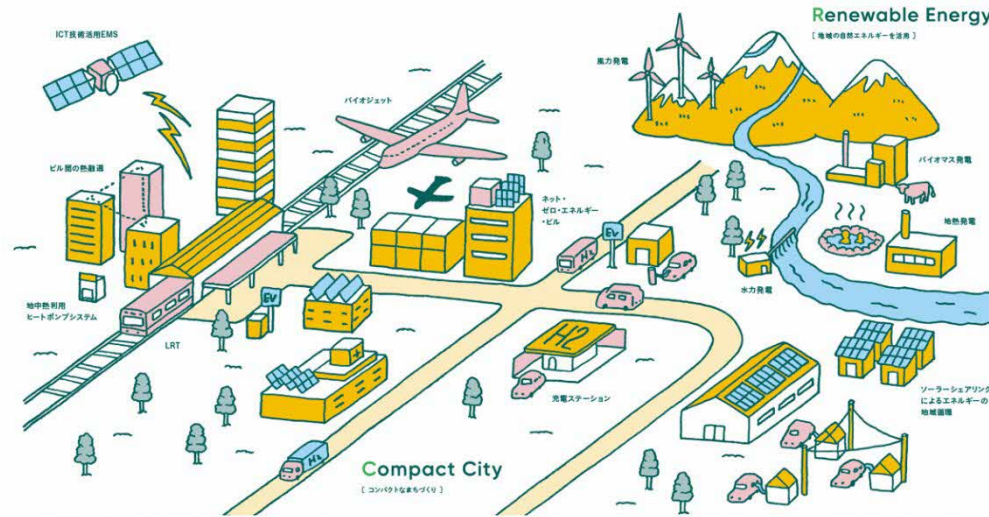
東：富岡・並木・松井・柳瀬



中央：吾妻・新所沢・
新所沢東・所沢

3つの地区に分かれて、地区の特徴を踏まえて、**投票と対策アイデアの整理**について話を進める。

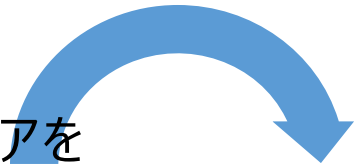
②全体まとめ方針 & 実証事業 (案)



脱炭素社会 ミライ予想図

特集 FUTURE VISION FOR A CARBON-FREE SOCIETY 出典：環境省（2017年）

案について対話・加筆・修正



将来像の作成

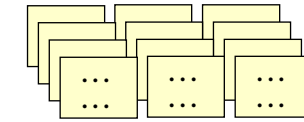
市民会議でのアイデアを
反映した将来像 (案)
早稲田大・市役所で作成

デザインに協力いただけませんか？

排出削減効果 (大)

日常生活の変化
(障壁を伴う)

日常生活の変化
(容易)



排出削減効果 (小)

3つの地区ごとに、対策
アイデアを整理する。

- 将来像に向けて、それぞれの対策を実証 (試行) する (早稲田大学で検討中)。
- 参加の皆さん、そのご家族・友人・知人、ぜひ実証にご参加ください。

マチごとゼロカーボン市民会議の流れ

第1回 8月21日

- ・ オリエンテーション
- ・ 参加者交流
- ・ 地球温暖化について

第2回 9月25日

- ・ 商品選択を通してゼロカーボンを考える
- ・ 農・食からゼロカーボンを考える

第3回 10月23日

- ・ 住まいからゼロカーボンを考える
- ・ エネルギーからゼロカーボンを考える

第4回 11月27日

- ・ 移動からゼロカーボンを考える
- ・ 地域での連携からゼロカーボンを考える

投票

第5回 12月18日

- ・ 所沢市の未来像について
- ・ 投票結果共有
- ・ 会議全体のふりかえり



2回目以降の
討論テーマを
決定

個別テーマについての対話が終了。各回の
テーマについて対話し、投票に向けて自分の
考えを確立させていく

感想



次回（第5回）のご案内とお願い

マチごとゼロカーボン市民会議（第5回）

日時：12月18日 13時～17時（予定）

場所：市役所8階大会議室

内容：里山の利用等 / 会議全体の振り返り

/ ゼロカーボンを実現する将来像のとりまとめ



[お願い]

- お手元のアンケートにご記入をお願いいたします。
- クオカードをお受け取りの上、受領書にサインをお願い致します。